



コスキンパレード
今年で20周年!

3日間にわたる国内最大の中南米音楽祭 コスキン・エン・ハポン2018

今 年で44回を数えるコスキン・エン・ハポンは、193グループ（ゲストを含む）が参加し、3日間にわたり開催されました。また、初日のオープニングイベントとしてすっかり馴染みとなったコスキンパレードは、今年で20周年を迎えました。アニバーサリーイベントでは、山木屋太鼓による演奏や母心のトークショーが行われ、会場を盛り上げました。

7日には、本場アルゼンチンのコスキンフェスティバルに、日本代表として出場する権利を争う「日本代表審査会」が行われました。今年の審査会には、「リオ・デル・ボスケ」と「Salami mar i」の2人組のグループ、2組が出場しました。審査は、繊細で力強い演奏が評価された「リオ・デル・ボスケ」が、見事、日本代表に選出されました。

今年も全国各地から集まった、たくさんのお客さんがフオルクロレの音色を披露しました。これからも、日本のコスキンをたくさんの人で盛り上げていきましょう！





日本代表「リオ・デル・ボスケ」



森井 英郎さん



清水 悠さん

「歌をレベルアップさせ、自分たちらしい演奏をしたい」

「リオ・デル・ボスケ」は、今年2月に結成したグループです。講習会で初めて出会い、アルゼンチンの巨匠ファン・ファルー氏に推薦されたこともあり結成しました。コスキン・エン・ハポンの審査会には、もっと自分たちを知っていただきたいという思いで参加しました。歳は7つ離れていますが、音楽の相性はピッタリで、審査会の演奏は練習の中で一番いい出来でした。今回、日本代表に選んでいただきとても嬉しく思います。1月に行われる本場アルゼンチンでの演奏は、課題である「歌」の練習を積み、自分たちらしい演奏をしてきたいと思います。応援よろしくお願いします！



写真の説明

1. ギターのホセ犬伏さんとケーナの渡辺大輔さんによるグループで、叙情的、情景的な表現を得意としています。2. これまでに日本代表に選出されたメンバーで結成されたグループで、演奏と歌と踊りで会場を盛り上げました。3. 昨年、日本代表に選ばれた桑原しんいちさん。本場アルゼンチンで披露した音色を奏でました。4. アルゼンチンを代表するケーナ奏者である、ラウル・オラルテさん。今年のポスターにも起用されています。5. 28年度に日本代表に選ばれた小川紀美代さん。

